

「劇場とは何か?」という根源的な問いに、舞台の内側から挑む。
舞台芸術の“創造と表現のプロセス”に光を当て、劇場の未来を描き出す。

Theatre
Workshop

幕^{まく}が上^あがる、 その前^{まえ}に

Vol.03

半世紀以上、舞台芸術を牽引してきた振付家が、
今、劇場の未来を語る。

ゲスト 洋舞家・振付家

名倉 加代子

— 創造の舞台裏から劇場を探る —

戸部 和久 (演出・脚本家)

ゲスト 名倉 加代子 (洋舞家・振付家)

中井 美穂 (フリーアナウンサー)



振付家の名倉加代子氏を迎え、舞台芸術のクリエイティブにおいて重要な役割のひとつである「振付」の視点から、「劇場とは何か」に迫ります。

宝塚歌劇やミュージカルなど、多様な現場で長年にわたり振付と指導を重ね、数々の表現者を世に送り出してきた名倉氏は、日本の舞台芸術を牽引してきました。

本セミナーでは、「振付」を通して見えてくる劇場の姿をひも解きながら、表現と観客が出会う「場所」としての劇場の未来を考えていきます。

創造の現場からの視点は、劇場関係者や舞台制作者にとどまらず、劇場建築や都市開発に携わる方々にとっても、新たなヒントが見つかるはずです。

「劇場の未来」をともに描く90分に、ぜひご参加ください。

チケット発売 6月17日(水) 10:00~

申込

イープラス



Event Hub



HP



日時

2026.07.30 木

19:00開始 18:30開場(休憩なし90分)

場所

P.O.南青山ホール

東京都港区南青山2-5-17

ポーラ青山ビルディング 地下1階

青山一丁目駅 から 徒歩2分

(東京メトロ銀座線・半蔵門線/都営大江戸線)



料金

一般 3,500円

U-25 2,000円(開催当日に25歳以下の方)

※未就学児入場不可

お問合せ

seminar@theatre-workshop.co.jp

ゲスト



名倉 加代子 Kayoko Nakura

洋舞家・振付家

新潟県生まれ。福井県立藤島高等学校卒業後、NTV「光子の窓」でデビュー。その後独立、「スタジオNo.1ダンサーズ」の一員として、TV、舞台各方面で活躍する。1969年、渡米。その後、TBS「サウンド・イン“S”」ではダンサー兼振付を担当。その振付の斬新さは注目を浴びる。1970年に「名倉ジャズダンススタジオ」を主宰、後進の指導にあたる一方、数多くの舞台・TVなどの振付を手掛ける。1995年、NHK趣味百科「魅惑のジャズダンス」で講師をつとめる。また、1996年には、ミュージカル「シェルブールの雨傘」で、振付と共に初めて演出を手掛け、好評を博す。2020年、舞踊生活60周年を迎える。2023年、第71回「舞踊芸術賞」(東京新聞制定)受賞。

主な振付作品:

ミュージカル「アニー」「ガイズ&ドールズ」「大草原の小さな家」「心を繋ぐ6ペンス」「少年隊プレイゾーン」「森は生きている」「美空ひばり物語」「越路吹雪物語」「蜘蛛女のキス」「ガブリエル・シャネル」「絹の靴下」などのほかに、宝塚歌劇団、OSK日本歌劇団、熊川哲也「メイド イン ロンドン」「Kバレエカンパニー ジャパンツアー」、スタジオ公演「Can't Stop Dancin'」「Spark×Spark」などの舞台、五木ひろし、八代亜紀ほか数多くのコンサート、TV、イベント、CMほか

ホスト



戸部 和久 Kazuhisa Tobe

演出・脚本家

1984年東京都生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、松竹株式会社に入社。歌舞伎を中心に脚本・演出・作詞を手がけ、古典と現代を融合した新作で注目を集める。代表作に『東海道中膝栗毛』シリーズ、『風の谷のナウシカ』(第48回大谷竹次郎賞受賞)、『幻想神空海』など。ラスベガス公演『鯉つかみ』やスケート歌舞伎『氷艶『破沙羅』』、史上初のオンライン歌舞伎『凶夢歌舞伎 忠臣蔵』を企画。活動は歌舞伎にとどまらず、OSK日本歌劇団レビューやミュージカル『ツクヨミ～the moon～』『へぼ侍』など幅広い分野に及ぶ。

2025年にはクラブカルチャーと伝統芸能を融合した『ZIPANGU the Party!!』を演出。片岡愛之助主演の新作歌舞伎『流白浪燦星(ルパン三世) 碧翠の麗城』は、2026年を通じて、東京・名古屋・京都・福岡の4大都市でロングラン上演が行われている。最新作は、2026年7月8日スーパー歌舞伎『もののけ姫』。脚本を丹羽圭子氏とともに担当している。



中井 美穂 Miho Nakai

フリーアナウンサー

1987年日本大学芸術学部を卒業後、フジテレビに入社。アナウンサーとして「プロ野球ニュース」「平成教育委員会」など多くの番組に出演し人気をあつめる。95年フジテレビ退社。97年から22年まで「世界陸上」(TBS)のメインキャスターを務めた。現在は「タカラヅカ・カフェブレイク」(TOKYO MXテレビ)、「スジナシ」(TBS)、「華麗なる宝塚歌劇の世界」(時代劇専門チャンネル)、「アルバレスの空」(BSテレ東・ナレーション)等にレギュラー出演。その他、動画配信番組、イベントの司会、クラシックコンサートのナビゲーター、朗読など幅広く活躍している。がん患者支援団体NPO法人がんネットジャパンの活動に賛同し、2018年理事に就任。がん啓発のイベントや市民公開講座の司会などの活動もしている。

「劇場とは何か」。その問いに、舞台の内側から挑む——

シアターワークショップが贈る『劇場セミナー 幕が上がる、その前に』は、演出・脚本家の戸部和久と、舞台芸術を深く愛するアナウンサー中井美穂をホストに毎回ゲストを迎え、さまざまな視点から劇場の未来を探るトークシリーズです。

これまで建築や空間設計といったハード面に焦点を当ててきた劇場セミナー。本シリーズでは、舞台芸術の「創造」と「表現」のプロセスに光を当て劇場という“場”の価値を再定義します。

脚本が立ち上がる瞬間、役者が魂を込める瞬間、観客の心が揺さぶられる瞬間——その裏側にある想いや仕掛けを紐解きながら、空間・建築・都市と劇場の新しい関係性を考える90分。

舞台芸術を愛する人々から、劇場を創る人、都市をデザインする人まで未来の劇場を共に考える仲間を迎えます。

幕まくが上あがる、
その前まえに
について